

芥川・ひとと魚にやさしい川づくり

芥川創生基本構想

平成18年 9月

芥川倶楽部

大阪府

高槻市

目 次

1 . 基本構想の策定に当たって	
1 - 1 . はじめに	1
1 - 2 . 目的	1
2 . 基本構想	
2 - 1 . 川づくりへの取組みの考え方	2
2 - 2 . 芥川位置図	3
2 - 3 . 川づくりの取組み	4
2 - 4 . 推進体制	8
2 - 5 . 芥川創生基本構想マップ	9
2 - 6 . 主な取組み	10
資料編	11

1. 基本構想の策定に当たって

1-1. はじめに

芥川は、高槻市を北から南に縦断し、ボンボン山北面及び椋田の里山から水を集め、田園地帯を通り、丘陵地から沖積平野部に広がる新旧の市街地を抜け、約24kmを下って淀川に注いでおり、途中には摂津峡で知られる自然のV字溪谷があり、市街地にも近く、自然環境を残す貴重な場所として親しまれている。

かつて、昭和30年代に入り、JR東海道本線沿線に工場ができ、また大阪京都の中間に位置するという立地条件の良さから急速にベッドタウン化し、昭和40年代には人口が急増した。このように高度経済成長期以降、芥川を取り巻く流域の都市化は著しく、芥川の変化により、生態系のポテンシャルが低下し、それに伴う本来の河川の魅力も低下していた。また、住民のライフスタイルも変化し、川との関わりが希薄になっていた。

しかし、下水道整備、都市農業における低毒性農薬への切り替えなどに伴い芥川の水質が改善し、治水対策として進められてきた河川改修により、親水空間も随所に整備され、再び人々が水辺に憩いを求めるようになってきた。

また、近年、環境に対する関心の高まりから「河川法」が改正され、治水・利水に加え、河川環境の整備と保全が法の目的に位置づけられ、自然とのふれあいのニーズが高まる中で、芥川は都市の中の貴重な自然とのふれあいの場として見直されている。

このような状況の中で、芥川が地域の人々に親しめる川になるよう、平成17年7月7日（木）（川の日）に、市民・市民団体・学識経験者・行政などで組織する「芥川・ひとと魚にやさしい川づくりネットワーク」（芥川倶楽部）が設立され、住民と行政の協働による「川づくり」の取組みが始まった。

そこで、今回は、「芥川倶楽部」において、ワークショップでの論議や、学識経験者の意見を踏まえながら、協働で基本構想を作成した。

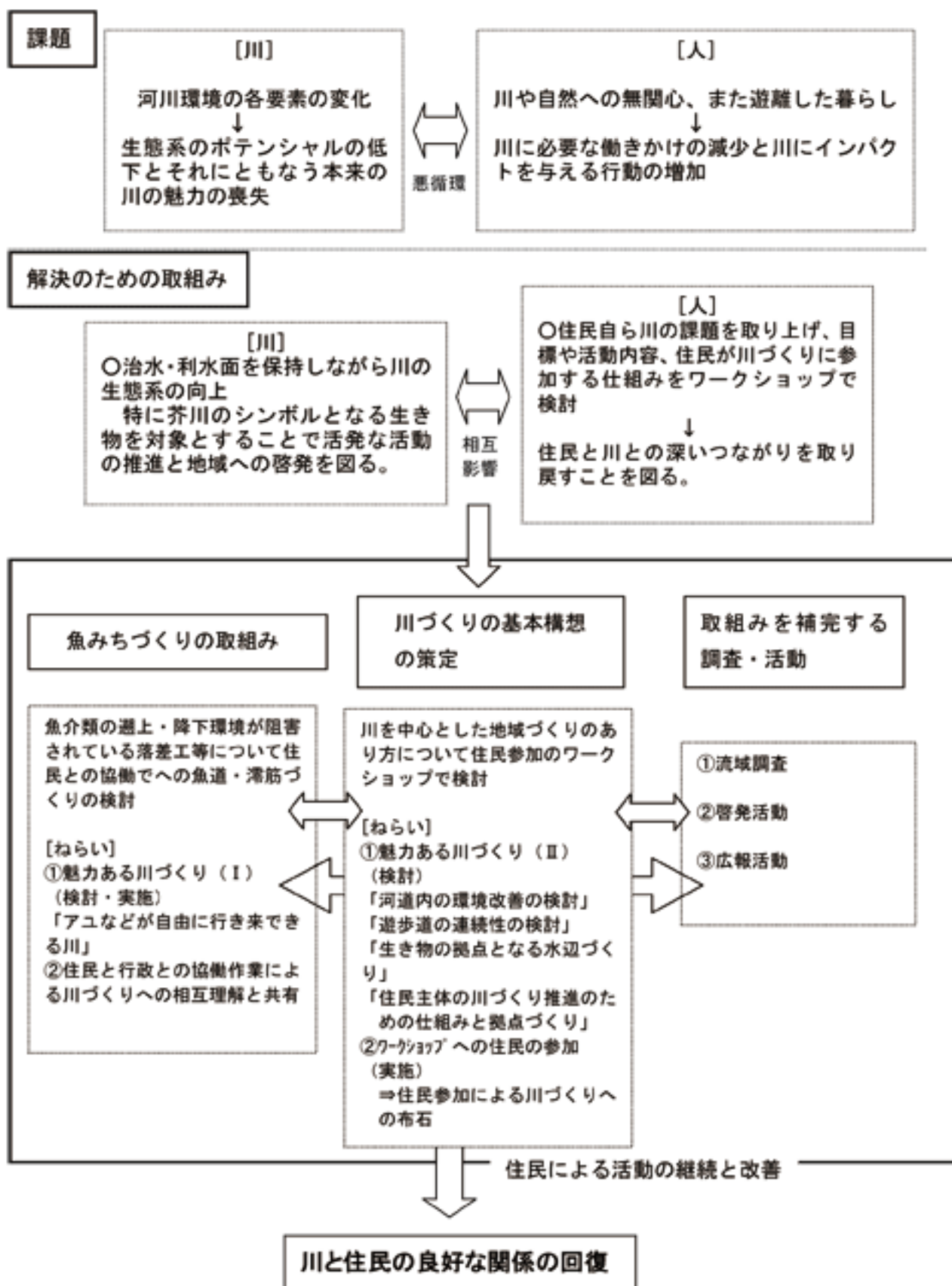
1-2. 目的

一級河川芥川において、昨今の自然回復の兆しをより確実にするため、豊かな生態系を取り戻し、それを次代に引き継いでいくことが重要であると考えます。

そこで、この基本構想は、「ふるさとの川「芥川」において、さらに豊かな生態系の回復を目指して、自然・歴史を守り育て、また多様な生き物との触れ合いを通じて、より市民の心の豊かさを回復する。そんな芥川を目指し、今後、芥川倶楽部や多くの住民、行政が、持続性をもって「芥川 ひとと魚にやさしい川づくり」に取り組む」ための基本的な指針とするものである。

2. 基本構想

2-1. 川づくりへの取組みの考え方



2-2. 芥川位置図

芥川総延長：約24 km



2-3. 川づくりの取組み

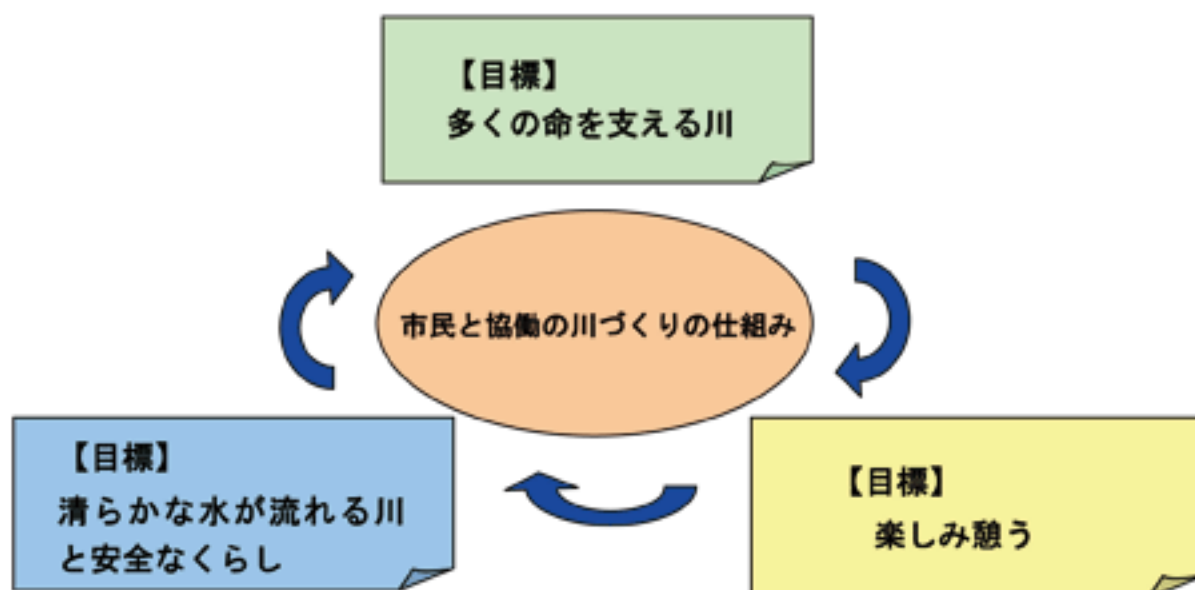
(1) 理念

○アユをシンボルとして芥川流域の自然を守り育てて豊かな生態系の回復を目指し、水や生き物との触れ合いや人との交流を通じて豊かな心を育める「人と魚にやさしい芥川」をつくっていく。

○治水・利水については、先人たちの体験や知恵を活かしながら、流域を視野にした洪水対策や用水等への活用を図り、また、住民と行政が連携して災害に備えるコミュニティをつくっていく。

(2) 目標

3つの大きな目標に相互に関わり合いながら、自らの手で川づくりを行える仕組みや活動場所をつくり、また、川づくりを担う人材を育成していく。



目標 【多くの命を支える川】

「多くの生き物が次の命を育むための環境をつくろう」

① 多くの種類の生き物がすめる空間をつくろう

地域特有の種など多くの命を支える多様な空間をつくっていく。

○川の中の多様な環境づくり（流れや深さ、底質などが異なる多様な環境が形成される工法を施す。）

○水辺の多様な環境づくり（水際などに生き物にやさしい工法を施し、自然を回復する。）

○芥川と周辺の緑のネットワークづくり（芥川を軸にして周辺も含めて緑のネットワークをつくり、多くの生き物が棲む自然の軸とし、また、芥川を風の道とすることでヒートアイランド現象の抑制を図る。）

② 生き物が自由に行き来できる川をつくろう

生き物が生息していく上で必要な移動経路を確保し、多くの生き物が更に育める川にしていく。また、つなげたことで侵入する外来種への対策も検討する。

○魚みちづくり（落差工や水深のない流路に魚みちづくりや滞筋を整えて、上流から淀川そして海までといった縦方向のネットワークをつくる。）

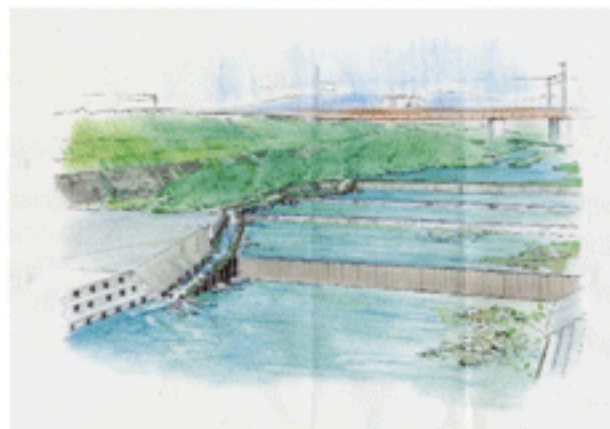
○芥川と周辺の水環境とのネットワークづくり（芥川と周辺の水路、農地やため池などをつなぐ仕組みを検討し、生き物が行き来できる横方向のネットワークをつくる。）

○流量の確保（水生動物が移動可能な流量を確保するため、雨水などの未利用水の活用を検討する。）

川の中の多様な環境づくりイメージ
(瀬と淵の創出)



魚の連続性(魚みち)イメージ
(JR 鉄橋下流部)





湿地などの自然の創出イメージ
(津之江公園)



目標 【楽しみ憩う】

「水や多くの生き物、そしてそこに集う人々との触れ合いを楽しもう」

① 楽しみ憩える場をつくろう

芥川を望む良好な風景や、市民がその風景を眺めながら散歩できる道、そして水際まで近づき水や生き物と触れ合えるような空間をつくる。

○遊歩道づくり（自然を守りながら遊歩道をつなげていき、散歩と歩行者や自転車が芥川に沿って高槻市の南北方向への移動ができるようにする。）

○水を楽しむ空間づくり（遊歩道から水際まで近づいて水や生き物と触れ合える空間を、自然に配慮しながらつくる。）

○芥川の景観や歴史、文化を活かしたまちづくり（芥川を軸に流域での景観や歴史文化の資源を活かしたまちづくりを行う。）

② 芥川を学び伝えよう

市民活動の拠点づくりを行い、より多くの市民が芥川を知って川づくりを支えるようにする。

○情報発信（機関誌やホームページを通じて芥川のことを多くの人に知ってもらう。）

○環境学習、自然観察会、イベントの実施（芥川の自然、文化、歴史をわかりやすく解説する人、インタープリター（語り部）を活用し、楽しみ、学び、触れ合える機会を設ける。）

○子どもの自然体験（子どもたちが身近な場所で自然と触れ合えるように芥川全体を自然体験の場としていく。）

ひとの連続性（遊歩道）イメージ
（門前橋上流部）



市民活動の拠点イメージ
（芥川緑地資料館周辺）



目標 【清らかな水が流れる川と安全な暮らし】

「清らかな水が流れる美しい芥川と洪水のない安全な暮らしを流域で築こう」

① 清らかな水、美しい水辺を育もう

森林などの水源を守り、清らかな水や美しい水辺を育む。

○森林の保全（森林の間伐といった管理を行い、水源を守り、水質、水量を確保する。
間伐材は川づくりの素材として有効に利用する。）

○水質の浄化（流域の中で水を汚さないよう配慮し、また、自然の素材を利用した水
質浄化を検討する。）

○水辺の美化（河川の清掃とごみを捨てない啓発を行い、美しい水辺をつくる。）

○水の利用（豊かな水の恵みを受け、地域の生活や産業への活用を図る。）

② 安全な暮らしを築こう

自然の保水や遊水機能の活用など流域で総合的に洪水を防ぐ川づくりと、災害に備
える防災マップやコミュニティづくりを行い、安心して暮らせるまちをつくる。

○防災マップづくり（洪水時の浸水状況や危険箇所、避難場所などを盛り込んだ防災
マップづくりを地域の自治会や小学校と連携して行う。）

○防災コミュニティづくり（災害時の連絡や連携が備わったコミュニティをつくる。）

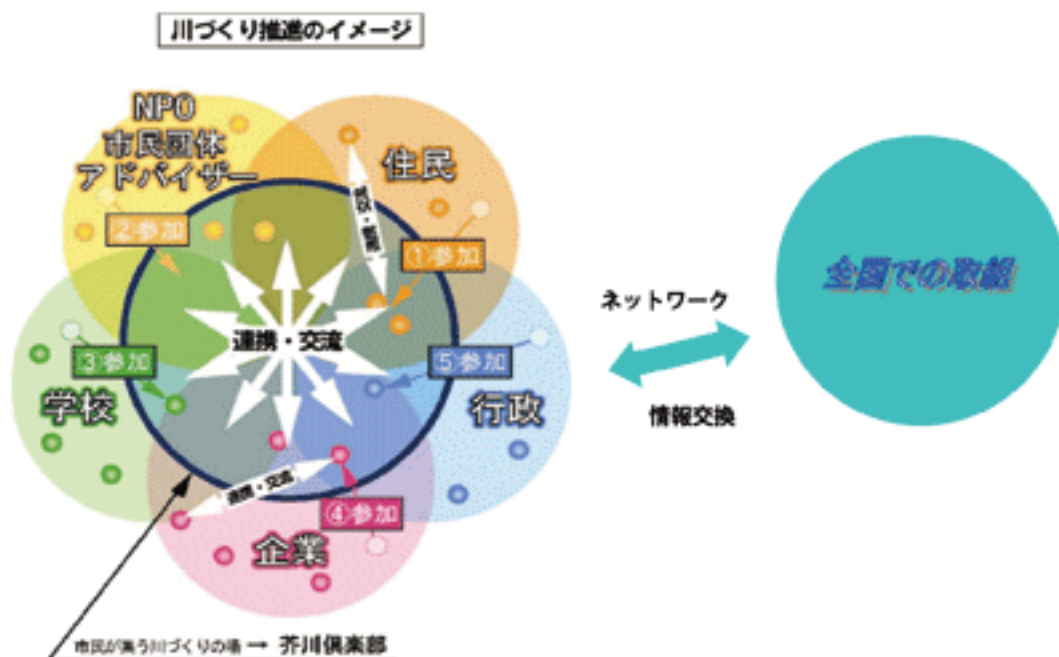


平成 18 年 3 月 26 日に実施した
芥川クリーンアップの様様

2-4. 推進体制

目標を達成するためには、行政だけでも市民だけでもできない、お互いの協力が必要であるという認識のもと、以下のとおり推進体制を確立していく必要がある。

- 1) 目標に向かった川づくりを効率的、継続的に行うために、芥川倶楽部を中心に大阪府や高槻市などと連携するとともに、市民や市民団体、企業、教育機関といった芥川に関わりある多くの人々が知恵と体を使って参加する仕組みをつくる。
- 2) 市民活動の連携、交流、情報の共有化を行い、目標に向けて活動する仕組みをつくる。
- 3) 将来的に自立した市民主体の運営を組織する。
- 4) 全国各地の川づくりの取組みを行っている NPO などとのネットワーク化を目指す。



2-5. 芥川創生基本構想マップ



芥川創生基本構想マップ

芥川川づくりの取り組みマップ

2-6. 主な取組み

目標	主な取組
多くの命を支える川	<p>魚みちづくり (落差工魚道、滞筋など)</p>
	<p>周辺水環境とのネットワークの形成</p>
	<p>津之江公園自然再生</p>
楽しみ憩う	<p>遊歩道の整備</p>
	<p>河川の調査・研究・情報発信 (モニタリング、広報活動、環境学習、観察会等)</p>
	<p>活動拠点の整備</p>
	<p>活動組織の拡充 (NPO化、関連組織との連携等)</p>
<p>清らかな水が流れる 川と安全な暮らし</p>	<p>河川の保全 (河川清掃、啓発、特定外来種の調査・研究等)</p>